

令和6年度第2回東京藝術大学特別講義（DOOR）受講感想【一部】

天草市立本渡看護専門学校

1年生 令和6年6月17日（月）

2年生 令和6年6月19日（水）

演題	集落に生きる 一縮退する地域と向き合う・パブリックヒストリーの実践一
講師	井口 梓（いぐち あずさ）氏 愛媛大学社会共創学部／文化資源マネジメント 筑波大学大学院博士課程・生命環境科学研究科を修了後（博士（理学））、2009年に愛媛大学に着任し、愛媛県内各地で文化を活かしたまちづくりや文化資源マネジメントの実践に取り組む。専門は、地理学・民俗学・観光学。文化庁・文化財マネジメント職員養成研修講師、各地の文化財保存活用計画や改修工事、文化アート事業等の委員会委員、アートコミュニケーター「ひめラー」（愛媛県・東京藝大）の講師をつとめる。 愛媛大学学長特別補佐・社会共創学部副学部長・地域共創センター副センター長

1年 ①

今の時代「限界集落」「消滅可能性都市」「無住化集落」が日本で聞きなれた言葉になってきていることが問題である。しかし、それらを防ぐためにどのように行動すればいいかわからなかったり、無関心な人がそもそもいることも恐ろしいことだと思った。今回の講義で地元の大切さを改めて実感しました。お祭りは花火にしか興味なかったけど、これを行うことにより伝統芸能を継承したり、笑いを得ることは歴代の喜びと誇り、世代を超えた人々が集う重要な機会になることがわかり、そう考えるとお祭りの大切さがわかりました。私は天草の少子化を防ぐために天草のいいところを集落アーカイブとして残してみたいなと思いました。

1年 ②

まず第一に、強い感動を覚えました。その地域の方が生きた証を種を撒くように後世へ継承していくというのは、この天草でも、私の故郷佐賀県〇〇町でも同じことが言えるなと思いました。また、井口さんが終始楽しそうにお話されているところから、地方の再生や、地方での活動は人の心を動かして、訴えてくるものがあるのだろうと感じました。集落の豊かさというのは、大きなお店があるからでも、人口が多いからでもなく、その土地で生きる方々が後に繋げたい継承したいと思う力なのではないかと思いました。その証拠として福岡県の朝倉では「まちおさめ」をしっかりとしているのだと考えました。その町が好きだからこそ、その町にさよならをしなければいけないという発想が生まれたと思います。そして最後に今を生きるからこそ、地域に目を向け、関心を持つことが大切だと思います。少なからず、限界集落は今後増える可能性があるため、地域に密着できる人でありたいと感じました。

1年 ③

今回の講義の中で“自分で自分の歴史する”という言葉がとても印象に残っています。自分が今までどのようにして生きてきたのかをお互いに語り合うことで改

めて地域を知り、集落に生きることに繋がるのだなと思いました。私たちが住む天草も少子高齢化が進んでいることからこの講義がとて面白い学習になったと感じました。また、むらおこしという言葉は聞いたことがあったけど、「むらのこし」「むらおさめ」「むらみつめ」という言葉を初めて知りました。人口が減少していくことは仕方がないことだからこそ、今自分たちにできること、自分たちにしかできないことを少しずつ実施していくことが大切なのだと感じました。他にも、最後に紹介されていた「あとからくる者のために」という言葉がとて心に残っています。自分にも関係があることだと思うので、天草についてもっと知りたいと思いました。

2年 ①

地域在宅医療の授業で、天草も消滅可能性都市だという話を聞いていたので興味深く受講できました。コミュニティを形成する仲間が少しずつ減っていくというのをあまり想像したことがありませんでしたが、今、大学生の人々が50代の働き盛りになる頃には限界集落ばかりになると具体的に言われると「もうすぐだな」と感じて怖くなりました。

「むらのこし」「むらおさめ」などの言葉は初めて知ったので、少し衝撃的でした。より便利にするための地域づくりでなく、今住んでいる人にとって夢ある地域づくりをするというのが新鮮で興味深かったのですが、ゆるやかな消滅を前提としているので、少し悲しいなとも思いました。

QOLの維持という面で終末期医療に似ているなと感じました。

2年 ②

今日の講義を受けて、集落で生きていくことがどんなに素晴らしいことか、そして大変なことかを知ることができました。集落はどんどん縮退していく中で、自らの地域に誇りを持ち、支え合いながら生きている人がいて、自分たちの集落を守るために様々なことにチャレンジしている姿を見てとても感動しました。私の住んでいる地域もどんどん高齢化が進み縮退しています。自分が住んでいる地域の小さな歴史や伝統を大切にし、将来に残していけるのは私たち若者の役目だと思います。縮退していく中で、地域の歴史の一つひとつを大切にし、誇りをもって過ごしていき、地域に住んでいる人が喜びや幸せを感じられるように私も微力ながら関わっていけたらいいなと今日の講義を通して思いました。とても勉強になりました。

2年 ③

天草市も消滅可能性地域と言われている中で、今回このような講義を受けることができ本当によかったし、色々考えさせられる内容だと思いました。今後天草も今よりもっと人口が減って、医療施設もどんどん無くなっていってしまうかもしれないと思いました。現在も看護師は人手不足と言われているのですが、今回の講義を

聞いてより一層自分の生まれ育った天草で看護師として、自分にできることを行っていきたいと思いました。無住化集落が増えていくかもしれないという現状を受け止め、一人ひとりが自分の住んでいる地域のために何ができるのか考えることが大切だと思うので、私も天草のために自分にできることを見つけていきたいです。